

朝の礼拝

聖書 創世記 12章1～4a節 (旧約聖書 15頁)

- 1 主はアブラムに言われた。
「あなたは生まれ故郷
父の家を離れて
わたしが示す地に行きなさい。
- 2 わたしはあなたを大いなる国民にし
あなたを祝福し、あなたの名を高める
祝福の源となるように。
- 3 あなたを祝福する人をわたしは祝福し
あなたを呪う者をわたしは呪う。
地上の氏族はすべて
あなたによって祝福に入る。」
- 4 アブラムは、主の言葉に従って旅立った。

祝福された旅立ち

私が大学に合格した時、長らく離れていた教会の牧師先生に報告に行きました。私は「運が良かったからです」と申し上げると、先生は「それは神様の導きと言うんだよ」とおっしゃいました。私はその時には意味がわかりませんでした。今、ふり返ると導きは続いていると感じています。

皆さんは神様に選ばれて英和生となられました。聖書には人間の思いや願いに先立って、いつも神様の選びがあることがわかります。そして神様は必ずあなたと共にいると約束されています。今お読みしたアブラムの旅立ちにもそのことが書かれてあります。

神様はアブラムにあなたの生まれ故郷、父の家を離れなさいと言われました。それはアブラムのお父さんが天に召された直後のことでした。心の支えであったお父さんを失った上に、神様はアブラムに故郷からも離れなさいと言われていました。それは一見厳しいように思えますが、目に見える心の支えは失っても、

わたしはあなたと共にいて、あなたの行く道を示すから安心しなさいと励まして下さっているのです。

さらに神様はアブラムに「あなたを大いなる国民に」と言われています。「大いなる国民」というのは神様に信頼する人のことです。それはアブラムが見ず知らずの土地を巡りながら、そこでの出会いや関わりを通して神様を愛し、隣人を自分のように愛する人間へと成長させて下さるということです。そうしてアブラムは神様に祝福される者、神様に喜ばれる者になっていくのでした。

最後に、神様はアブラムの旅立ちに「祝福の源となるように」と祈っています。祝福の源とはアブラムの子孫も、アブラムと出会った人々も、アブラムのように人生という旅を通して神様に喜ばれる人と成長させて下させるということです。

今、皆さんは春を間近にして、人生という旅の新しいステージに立とうとしています。どうか神様の変わらない導きを信じて、良き準備の時を歩まれますようにと祈っています。

しばらく黙祷しましょう。

祈禱 祈りましょう

私たちを愛し、励まされる主よ。

あなたはアブラムに故郷から離れ、わたしの示す地に行きなさいと言われました。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、あなたの祝福のうちに歩ませて下さい。

主イエス・キリストの御名によってお願い致します。アーメン